

モリアザミ	<i>Cirsium dipsacolepis</i> (Maxim.) Matsum.	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地と個体数が極めて減少している。	写真(国立科学博物館) 
形態の特徴	茎は高さ50-100cm。根出葉は開花時には枯れていて無い。下部の茎葉は長い柄があり、葉身は卵形から長楕円形、羽状に浅裂から中裂し、上部の葉は小さくて裂けない。頭花は上向きで、直径約3.5cm、小花は筒状花のみで赤紫色。総苞は長さ2-3cm、幅1.5-3cm。総苞片は反り返る。	
生態的特徴	冷温帯の乾いた草原に生育する。花期は9-10月。	
分布状況	本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県北、県南東に見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘